

外部評価面談実施報告（抜粋）

愛知学泉大学では、3年次までの“授業”や“実習”などで発揮してきた「社会人基礎力」を前期（7月）と後期（1月）の計2回、大学外部の方に評価していただいています。外部の方との面談によって、成長できた能力や「自己の強み、弱み」を確認することで、就職活動に役立てます。

◎前期（7月）

○外部者面談は「非常に効果あった」、「効果があった」と合わせて91.5%が効果的と回答。

○学生は面談時に、「傾聴力」を発揮して臨むことができた。

○次の面接までに、「計画力」（14.9%）、「主体性」（13.9%）、「実行力」（10.2%）、「課題発見力」（10.4%）、「発信力」（10.0%）を伸ばしたいと回答。

（参考）

◎卒業生の就職先等の企業より、アンケートを依頼し、本学学生が不足すると回答された能力要素「計画力」

◎面談結果より、本学3年生が低いと思われる能力要素「実行力」

○今回の外部者面談を、就活（集団面接（28.6%）や個人面接（28.6%））、インターンシップ（25.9%）で活かしたいと回答。

○2022年卒業生アンケートより、本学の就職支援に84.7%が「満足」。また、第1希望の就職先に決まった学生は73.3%。この結果より、社会人基礎力を活かし、年々計画的に粘り強く、就職活動ができる学生が多くなっていると思われる。

○社会人基礎力を備えた学生を社会に送れるよう、就職委員会でさらに力を入れていく。

◎後期（1月）

○外部評価面談は「効果があった」（92.1%）が回答

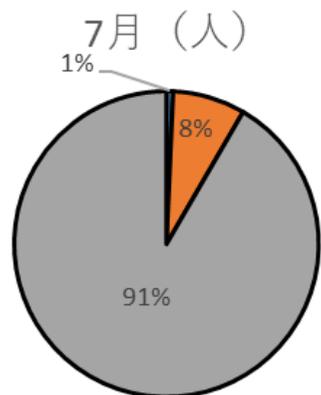
○自分で身に付いたと感じる能力要素は、「主体性」（19.1%）、「実行力」（12.2%）、「発信力」「柔軟性」それぞれ（11.3%）であった。

○前期（7月）の面談から発揮した能力要素は、「主体性」（55.6%）、「傾聴力」（40.9%）であった。

○伸ばしたい能力要素で発揮できなかった能力要素は「計画力」（25.2%）であり、前と比較し10.3%減少。企業アンケートで本学学生が不足すると回答された能力と一致していた。

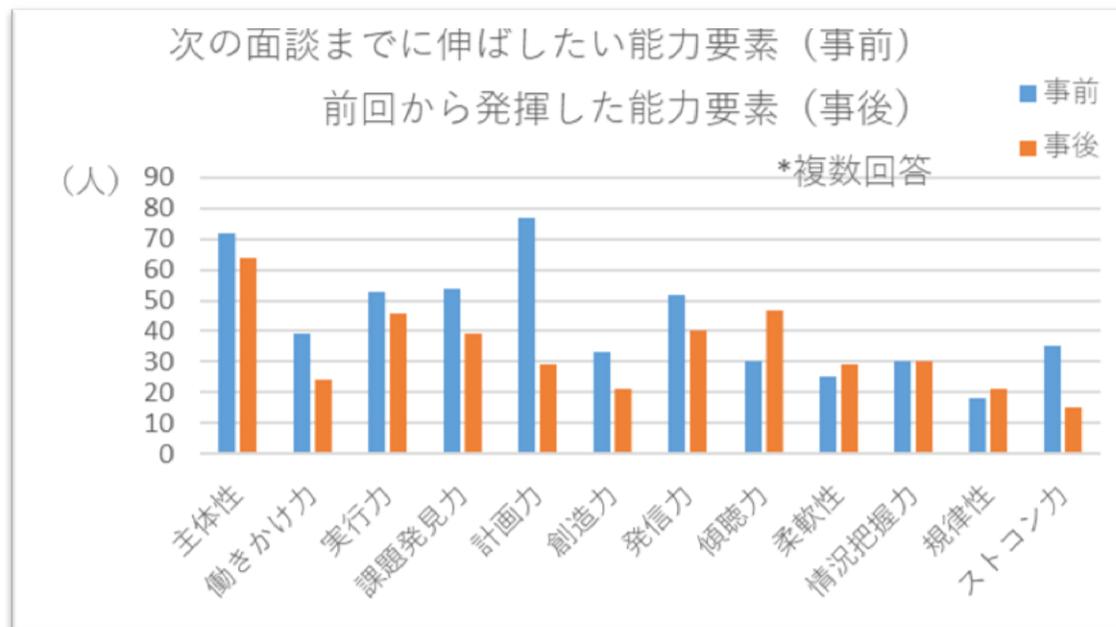
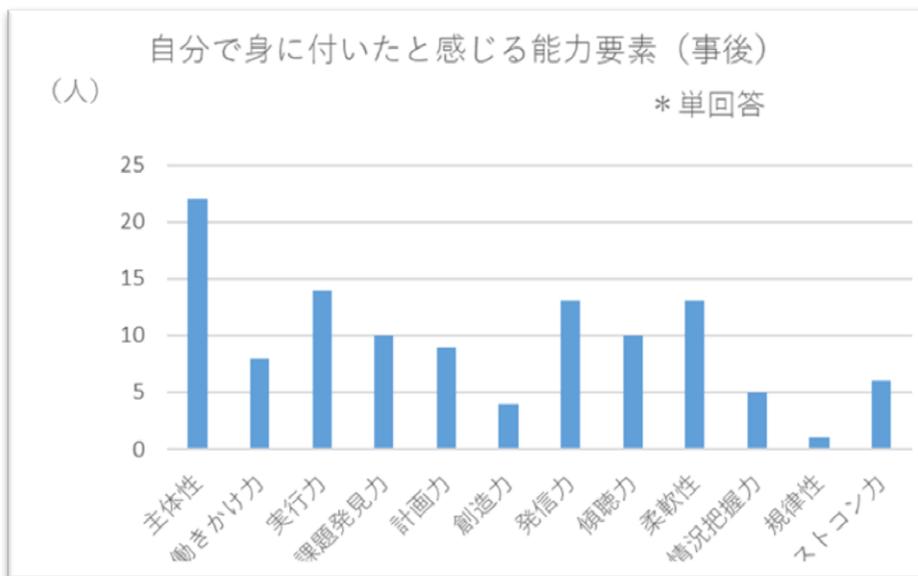
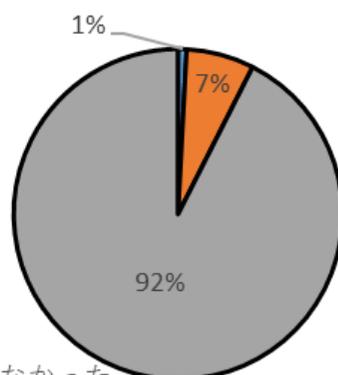
○外部者面談を就活のどの場面で活かすかという問いでは、個人面接、インターンシップや就職活動の計画、企業説明会等と多岐にわたる回答。

面談は効果的か



- 効果はなかった
- どちらともいえない
- 効果があった

1月 (人)



就活での活かし方

